

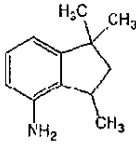
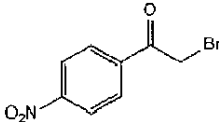
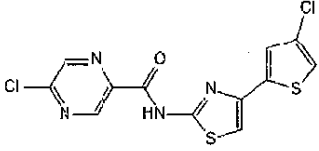
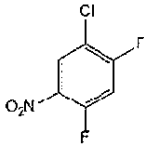
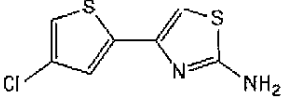
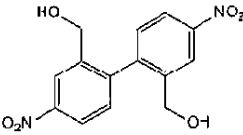
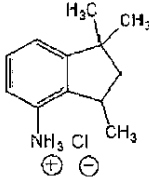
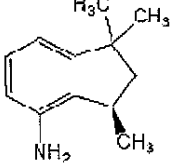
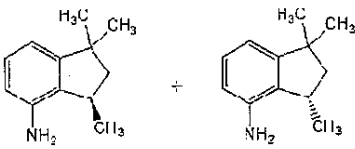
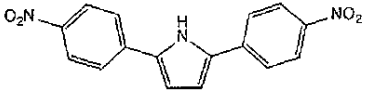
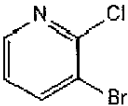
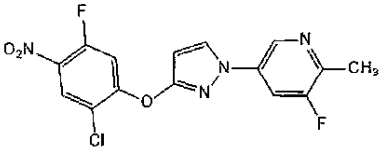
別紙1 変異原性が認められた届出物質に関する情報一覧

名称公表 通し番号	名称公表年月日 名称公表告示番号	名称	構造式	性状	用途の例
1 28158	令和元年12月27日 厚生労働省告示第206号	1, 1, 3-トリメチル-2, 3-ジヒドロ-1 <i>H</i> -インデン-4-アミン	別添参照	赤褐色油状液体	中間体
2 28189		2-プロモ-1-(4-ニトロフェニル)エタン-1-オン	別添参照	黄赤結晶	中間体
3 28289	令和2年3月27日 厚生労働省告示第103号	5-クロロ-N-[4-(4-クロロチオフェン-2-イル)-1, 3-チアアゾール-2-イル]ピラジン-2-カルボキシアミド	別添参照	固体	中間体
4 28294		1-クロロ-2, 4-ジニトロベンゼンと(1-クロロ-2, 4-ジニトロベンゼンと2-ヒドロキシ-1-[4-(2-ヒドロキシエトキシ)フェニル]-2-メチルプロパン-1-オン)による1-[4-(2-(2, 4-ジニトロフェノキシ)エトキシ)フェニル]-2-ヒドロキシ-2-メチルプロパン-1-オン合成の副生成物と1-[4-(2-(2, 4-ジニトロフェノキシ)エトキシ)フェニル]-2-ヒドロキシ-2-メチルプロパン-1-オンと2-ヒドロキシ-1-[4-(2-(2-ヒドロキシエトキシ)フェニル)-2-メチルプロパン-1-オンの混合物]	-	黄色固体	廃棄物
5 28295		1-クロロ-2, 4-ジフルオロ-5-ニトロベンゼン	別添参照	液体	医薬品合成原料
6 28297		4-(4-クロロチオフェン-2-イル)-1, 3-チアアゾール-2-アミン	別添参照	帯褐色結晶	中間体
7 28306		1-[4-(2-(2, 4-ジアミノフェノキシ)エトキシ)フェニル]-2-ヒドロキシ-2-メチルプロパン-1-オンと(1-[4-(2-(2, 4-ジニトロフェノキシ)エトキシ)フェニル]-2-ヒドロキシ-2-メチルプロパン-1-オンの水酸化反応による1-[4-(2-(2, 4-ジアミノフェノキシ)エトキシ)フェニル]-2-ヒドロキシ-2-メチルプロパン-1-オン合成の副生成物)の混合物	-	微紫色固体	廃棄物
8 28323		1, 1'-[4, 4'-ジニトロ[1, 1'-ビフェニル]-2, 2'-ジイル]ジメタノール	別添参照	白~黄色固体	中間体
9 28379		1, 1, 3-トリメチル-2, 3-ジヒドロ-1 <i>H</i> -インデン-4-アミノニウムクロリド	別添参照	白~淡黄色粉末	中間体

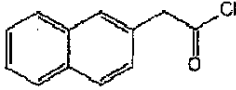
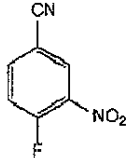
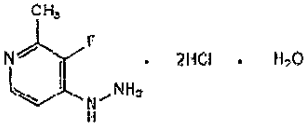
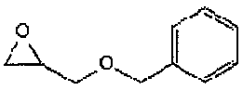
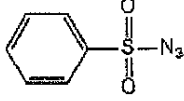
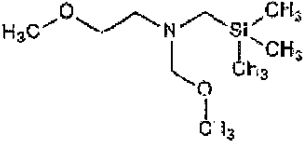
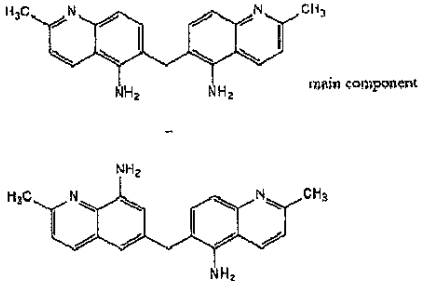
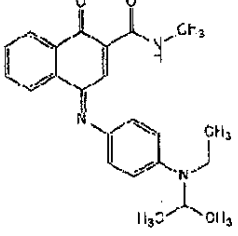
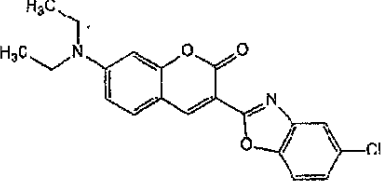
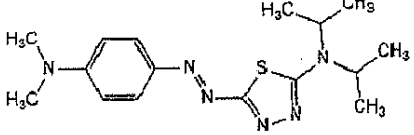
10	28380	令和2年6月26日 厚生 労働省告示第245号	(3R)-1, 1, 3-トリメチル-2, 3-ジヒドロ-1H-イソベンゾ-4-アミン	別添参照	黄～黄褐色油状液体	中間体	
11	28381		(3R)-1, 1, 3-トリメチル-2, 3-ジヒドロ-1H-イソベンゾ-4-アミンと(3S)-1, 1, 3-トリメチル-2, 3-ジヒドロ-1H-イソベンゾ-4-アミン(主成分)の混合物	別添参照	赤褐色～褐色油状液体	中間体	
12	28394		2, 5-ピエス(4-ニトロフェニル)-1H-ピロール	別添参照	赤褐色固体	中間体	
13	28426		3-フロモ-2-クロロピリジン	別添参照	白～淡黄色固体	医薬品原料	
14	28464		令和2年6月26日 厚生 労働省告示第245号	【アジモニウムニホルマートとギ酸と5-クロロ-2-ニトロベンズアルデヒドとフロバノン酸の反応生成物】と塩化水素と水の反応生成物】の4-メチルベンゾタン-2-オンによる抽出物	—	固体	廃棄物
15	28531			5-[3-(2-クロロ-5-フルオロ-4-ニトロフェノキシ)-1H-ピラゾール-1-イル]-3-フルオロ-2-メチルピリジン	別添参照	白～淡黄色結晶	中間体
16	28612		(チラタレン-2-イル)アセチルニクロリド	別添参照	—	医薬品中間体	
17	28654		4-フルオロ-3-ニトロベンゾニトリル	別添参照	粉体	医薬品原料	
18	28655		3-フルオロ-5-ヒドラジニル-2-メチルピリジン塩化水素-水(1/2/1)	別添参照	粉末	中間体	
19	28682		[(ベンジロキシ)メチル]オキシラン	別添参照	無～淡黄色透明液体	中間体	
20	28684	ベンゼンスルホニルニプロジド	別添参照	—	中間体		
21	28705	2-メトキシ-N-(メトキシメチル)-N-[(トリメチルシリル)メチル]エタン-1-アミン	別添参照	無色透明液体	中間体		
22	28712	令和2年9月25日 厚生 労働省告示第327号	6-[8-アミノ-2-メチルキノリン-6-イル]メチル]-2-メチルキノリン-5-アミンと6, 6'-メチレンピス(2-メチルキノリン-5-アミン)(主成分)の混合物	別添参照	白～薄茶色粉末	中間体	
23	28734		4-[14-[エチル(フロバン-2-イル)アミノ]フェニル)イミノ]-N-メチル-1-オキソ-1, 4-ジヒドロナフタレン-2-カルボキシナイド	別添参照	青黒色粉末	ペンキまたは複写用薬剤	

24	28764	3-(5-クロロ-1,3-ベンゾオキサゾール-2-イル)-7-(ジエチルアミノ)-2H-1-ベンゾピラン-2-オン	別添参照	固体	着色料
25	28794	5-[[4-(ジメチルアミノ)フェニル]ジアゼニル]-N,N-ジ(プロパン-2-イル)-1,3,4-チアジアゾール-2-アミン	別添参照	褐色固体	中間体
26	28835	4-[[10-(4-ヒドロキシフェニル)アントラセン-9-イル]メチル]フェノール	別添参照	褐色固体	中間体
27	28852	N-[5-[ベンジル(エチル)アミノ]-2-[(4-シアノ-3-メチル-1,2-チアアゾール-5-イル)ジアゼニル]フェニル]アセトアミド	別添参照	赤色粉末	インキまたは複写用薬剤

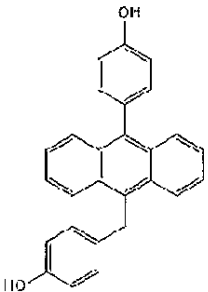
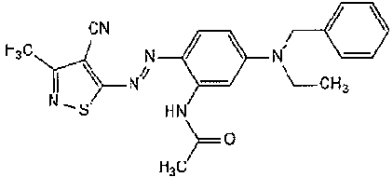
別添 変異原性が認められた届出物質の構造式

安衛法官報 通し番号	構造式	安衛法官報 通し番号	構造式
28158		28189	
28289		28295	
28297		28323	
28379		28380	
28381	 <p style="text-align: center;">main component mixture</p>	28394	
28426		28531	

別添 変異原性が認められた届出物質の構造式

安衛法官報 通し番号	構造式	安衛法官報 通し番号	構造式
28612		28654	
28655		28682	
28684		28705	
28712	 <p>main component</p> <p>mixture</p>	28734	
28764		28794	

別添 変異原性が認められた届出物質の構造式

安衛法官報 通し番号	構造式	安衛法官報 通し番号	構造式
28835		28852	

変異原性が認められた既存化学物質一覧

化学法・安価法 登録番号	CAS No.	名称	構造式等	常温の性状等 (固体、液体、気体)	用途	変異原性試験結果の概要 ※1	出典
1-215, 2-187, 9-644	4884-46-7	<i>N,N</i> -ジメチルアミノエチル-2-クロロドヘキル		結晶 融点: 201-204°C 沸点: - 蒸気圧: -	医薬・農業中間体, カチオン化剤	Ames試験最大比活性値: 4.28 × 10 <sup>6</sup> Rev./mg	厚生労働省 化学工業日報社
2-2403	598-09-4	β-メチルエチルクロロヒドリン		液体 融点: - 沸点: 122°C 蒸気圧: -	合成樹脂原料, 繊維処理剤	Ames試験最大比活性値: 5.30 × 10 <sup>6</sup> Rev./mg	厚生労働省 化学工業日報社
2-2883	598-64-1	ジメチルアンモニウムジメチルチオカルバマート		固体 融点: 131.1°C 沸点: - 蒸気圧: -	重合調整剤	Ames試験最大比活性値: 1.23 × 10 <sup>6</sup> Rev./mg	厚生労働省 化学工業日報社
5-152	1484-13-5	9-ピニルカルバゾール		フレーク 融点: 60-65°C (lit) 沸点: 154-155°C at 3mmHg (lit) 蒸気圧: -	染料・顔料中間体	Ames試験最大比活性値: 8.54 × 10 <sup>5</sup> Rev./mg	厚生労働省 化学工業日報社
5-6185	64359-81-5	4, 5-ジクロロ-2-π-オクチルイソチアゾール-3-オン		固体 融点: 40.9°C 沸点: - 蒸気圧: 0.001Pa/25°C	船底塗料用防汚剤	Ames試験最大比活性値: 3.43 × 10 <sup>6</sup> Rev./mg	厚生労働省 化学物質情報管理研究センター

※1 各変異原性試験の判断基準

- 微生物を用いる変異原性試験 (Ames試験) において強い変異原性が認められるとするとその比活性値は、概ね1,000 (revertants/mg) 以上
- 母乳類培養細胞を用いる染色体異常試験において強い染色体異常誘発性を示すと評価する濃度は、D<sub>50</sub>値が概ね0.01 (mg/ml) 以下
- マウスリンファーママTT試験では、いずれかの試験系で突然変異頻度が陰性対照の4倍、又は陰性対照より400 × 10<sup>-6</sup>を超えて増加している場合、強い陽性と判断
- in vivo 小核試験で陽性が出た場合には、強い陽性と判断